

ウイルス肝炎治療学分野

A 欧文

A-a

1. Migita K, Ilyassova B, Kovzel EF, Nersesov A, Abiru S, Maeda Y, Komori A, Ito M, Yano K, Yatsuhashi H, Shimoda S, Ishibashi H, Nakamura M: Serum BAFF and APRIL levels in patients with PBC. *Clin Immunol* 134(2): 217-225, 2010 (IF:3.863)
2. Nakamura M, Yasunami M, Kondo H, Horie H, Aiba Y, Komori A, Migita K, Yatsuhashi H, Ito M, Shimoda S, Ishibashi H and PBC Study Group in NHOSLJ.: Analysis of HLA-DRB1 polymorphisms in Japanese patients with primary biliary cirrhosis (PBC): the HLA-DRB1 polymorphism determines the relative risk of antinuclear antibodies for disease progression in PBC. *Hepato Res* 40(5): 494-504, 2010 (IF:1.540)
3. Yano K, Tamada Y, Yatsuhashi H, Komori A, Abiru S, Ito K, Masaki N, Mizokami M, Ishibashi H; Japan National Hospital Acute Hepatitis Study Group: Dynamic epidemiology of acute viral hepatitis in Japan. *Intervirology* 53(1): 70-5, 2010 (IF:1.106)
4. Ginya H, Asahina J, Nakao R, Tamada Y, Takahashi M, Yohda M, Yatsuhashi H. Semi-quantitative discrimination of HBV mutants using allele-specific oligonucleotide hybridization with Handy Bio-Strand. *J Biosci Bioeng* 109(1): 94-100, 2010 (IF:1.749)
5. Ide T, Sata M, Chayama K, Shindo M, Toyota J, Mochida S, Tomita E, Kumada H, Yamada G, Yatsuhashi H, Hayashi N, Ishikawa H, Seriu T, Omata M.: Evaluation of long-term entecavir treatment in stable chronic hepatitis B patients switched from lamivudine therapy. *Hepato Int* 4(3): 594-600, 2010 (IF:1.725)
6. Sakamoto N, Tanaka Y, Nakagawa M, Yatsuhashi H, Nishiguchi S, Enomoto N, Azuma S, Nishimura-Sakurai Y, Kakinuma S, Nishida N, Tokunaga K, Honda M, Ito K, Mizokami M, Watanabe M.: ITPA gene variant protects against anemia induced by pegylated interferon- α and ribavirin therapy for Japanese patients with chronic hepatitis C. *Hepato Res* 40(11): 1063-1071, 2010 (IF:1.540)

A-c

1. Bae S.K, Yatsuhashi H, Yano K, Fukuda M, Nakao R, Hamada R, Hashimoto S, Nishikawa A, Motoyoshi Y, Nagaoka S, Yanagi K, Abiru S, Komori A, Ishibashi H, Ito M: Identification of Predicting Factors for Seroconversion of Hepatitis B E Antigen within A Year Among Biochemical, Pathological and Virological Markers. The International Liver Congress™ 2010 ,45th annual meeting of the European Association for the Study of the Liver (4/14-18 ,Vienna ,Austria ,2010 ,J Hepato 52 (1, Suppl): S275)
2. Komori A, Aiba Y, Nakamura M, Fujiwara S, Migita K, Fujioka H. Yatsuhashi H, Ishibashi H.: Signal Transducer and Activator of Transcription 3 and 5: Distinct Regulators in Growth and Differentiation of Human Cholangiocyte in Vitro. The International Liver Congress™ 2010 , 45th annual meeting of the European Association for the Study of the Liver (4/14-18 , Vienna , Austria , 2010 , J Hepato 52 (1, Suppl): S368)
3. Fukuda M, Yatsuhashi H, Takahara I, Murata T, Hashimoto S, Nishikawa A, Bae S.K, Motoyoshi Y, Nagaoka S, Yanagi K, Abiru S, Komori A, Migita K, Fujioka H, Ishibashi H: Association of serum interferon-gamma-inducible protein 10 (IP-10) levels with virological response to pegylated interferon alfa-2b plus ribavirin therapy for HCV genotype 1 infection. The International Liver Congress™ 2010 , 45th annual meeting of the European Association for the Study of the Liver (4/14-18 , Vienna , Austria , 2010 , J Hepato 52 (1, Suppl): S108)
4. Taura N, Yatsuhashi H, Nakao K, Sata M: The Incidence of Hepatocellular Carcinoma Associated with Hepatitis C Infection Decreased in Kyushu, Japan. The International Liver Congress™ 2010 ,45th annual meeting of the European Association for the Study of the Liver (4/14-18 , Vienna , Austria , 2010 , J Hepato 52 (1, Suppl): S236, 2010. 4.
5. Kawaguchi T, Yatsuhashi H, Watabe H, Saito H, Nakao K, Taketomi A, Ohta S, Tabaru A, Takenaka K, Mizuta T, Nagata K, Komorizono Y, Fukuizumi K, Seike M, Matsumoto S, Maeshiro T, Tsubouchi H, Muro T, Inoue O, Akahoshi M, Sata M: Data mining revealed clinical feature profiling associated with staging of non HBV- and non HCV-related hepatocellular carcinoma. AASLD The Liver Meeting 2010 (10/29-11/2 , Boston , USA , 2010 , HEPATOLOGY 52(4, Suppl): 1189A)
6. Tanaka Y, Sakamoto N, Enomoto N, Nishiguchi S, Yatsuhashi H, Kurosaki M, Matsuura K, Kurbanov F, Ito K, Izumi N, Tokunaga K, Mizokami: ITPA gene variants protect against anemia induced by pegylated interferon- α and ribavirin therapy for Japanese patients with chronic hepatitis C. AASLD The Liver Meeting 2010 (10/29-11/2 , Boston , USA , 2010 , HEPATOLOGY 52(4, Suppl): 768A)

B 邦文

B-a

1. 為我井芳郎, 工藤恵子, 小池貴志, 吉澤 大, 樋上勝也, 伊藤清顕, 矢野公士, 今村雅俊, 正木尚彦, 溝上雅史, 松枝啓, 石田 剛. 内視鏡による早期胃癌の IIb 進展範囲診断, クリスタルバイオレット染色による微細表面構造の拡大内視鏡観察の有用性. *胃と腸* 45(1): 71-84, 2010

B-b

1. 橋元 悟 ,八橋 弘: PEG-IFN+RBV 併用療法における体重あたり RBV 総投与量の意義 .*肝胆膵* 61(Suppl): 119-126, 2010

2. 八橋 弘：【特集 / 肝胆膵薬物治療学の進歩 - この 30 年 - 】ペガシス，コペガス．肝胆膵 61(6): 941-9, 2010
3. 八橋 弘，矢野公士，玉田陽子：【特集 / 急性肝障害 - 薬物性肝障害とウイルス肝炎】急性肝障害を起こす疾患，ウイルス性急性肝障害とその治療，A 型肝炎．臨牀消化器内科 25(11): 1501-6, 2010
4. 八橋 弘：データマイニング解析と治療戦略．Medical Practice 27(1): 117-8, 2010
5. 八橋 弘：B 型肝炎に対する核酸アナログ療法，薬剤耐性の出現率を考慮．日経メディカル 507: 142-3, 2010
6. 八橋 弘：急性ウイルス肝炎，最近の話題．Minophagen Medical Review 55(1): 72-75, 2010
7. 八橋 弘，矢野公士，玉田陽子：経口感染するウイルス肝炎，A 型肝炎の最近の動向．medicina 47(3): 409-12, 2010
8. 八橋 弘，裴 成寛，長岡進矢，阿比留正剛：ウイルス感染症，B 型肝炎ウイルス DNA および核酸検査．日本臨牀 68 (Suppl. 6): 443-5, 2010
9. 八橋 弘，矢野公士，玉田陽子：【特集 / ウイルス肝炎】ウイルス肝炎の疫学 1，A 型肝炎ウイルス感染．治療学 44(9): 11-13, 2010
10. 八橋 弘，矢野公士，玉田陽子：A 型肝炎ウイルス関連検査．medicina 47(11. Suppl): 374-5, 2010
11. 八橋 弘，松本武浩：【特集 / 肝疾患の地域連携医療 - 肝疾患診療連携拠点病院】公費助成制度，治療計画の運用 - ，長崎県での医療連携 - IFN 手帳とあじさいネット．肝胆膵 61(5): 819-27, 2010
12. 八橋 弘，矢野公士：わが国の予防接種 - 現状から未来を展望する - ，B 型肝炎ワクチン．Clinical Virology 38(5): 421-6, 2010
13. 正木尚彦，西村 崇，忌部 航，山田晃弘，柳瀬幹雄，矢野公士，伊藤清顕，今村雅俊，伊東和樹，宜保行雄，垣内雅彦，川上由育，川上広育，畠山重秋，小松眞史，金 守良，八橋 弘，泉 並木，野村秀幸，西原利治，中尾春壽，米田政志平松直樹，林 紀夫，溝上雅史：ペグインターフェロン治療における診療アクセスの改善策に関する多施設共同研究～前向き研究と後ろ向き研究からの考察～．肝臓 51(7): 348-360, 2010
14. 相葉佳洋，小森敦正，右田清志，八橋 弘，塚元和弘，石橋大海，中村 稔：日本人原発性胆汁性肝硬変患者（PBC）の CTLA-4 一塩基多型（SNP）の解析．消化器と免疫 46: 105-107, 2010
15. 中村 稔，安波道郎，近藤久義，相葉佳洋，小森敦正，長岡進矢，阿比留正剛，八橋 弘，右田清志，石橋大海：HLA-DRB1 遺伝子多型が抗核抗体による原発性胆汁性肝硬変の予後予測に及ぼす影響の検討．消化器と免疫 46: 108-112, 2010

B-c

1. 八橋 弘，石橋大海：IFN 延長投与の基準，Peg-IFN/RBV 併用療法の延長投与では RBV 総投与量/体重比 3.0 以上を目指す．（第 27 回 犬山シンポジウム記録集 C 型肝炎，犬山シンポジウム記録刊行会編集，株式会社メディカルトリビューン，東京，pp.59-65 所収）2010
2. 八橋 弘：第 3 章 老年病各論，4. 消化器疾患 4. 6 肝臓疾患．（大内尉義・秋山弘子（編）：新老年学 [第 3 版] ，東京大学出版会，東京，pp.891-909 所収）2010
3. 八橋 弘，橋元 悟，柳 謙二：肝炎の臨床，C 型肝炎治療無効例に対する再治療．（小俣政男（監修），河田純男，横須賀收，工藤正俊，榎本信幸（編）：肝疾患 Review 2010-2011 [第 1 版 1 刷] ，日本メディカルセンター，東京，pp.176-181 所収）2010
4. 矢野公士：肝炎の臨床 - 日・米・欧・アジアにおける臨床の違い，A 型・E 型肝炎の現況と問題点．（小俣政男（監修），河田純男，横須賀收，工藤正俊，榎本信幸（編）：肝疾患 Review 2010-2011 [第 1 版 1 刷] ，日本メディカルセンター，東京，pp.35-40 所収）2010
5. 八橋 弘：感染症，ウイルス性肝炎，C 型肝炎．（別冊日本臨牀 新領域別症候群シリーズ No.13，肝・胆道系症候群（第 2 版）- その他の肝・胆道系疾患を含めて - I 肝硬変（上），pp.19-23 所収）2010

B-d

1. 八橋 弘：データマイニング手法を用いた効果的な治療方法に関する研究，平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金（肝炎等克服緊急対策研究事業）総括研究報告書，pp.1-11, 2010
2. 八橋 弘：献血者での HBV-DNA 陽性血におけるデルタ肝炎ウイルス感染の実態に関する研究，平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金（医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業）総括研究報告書，pp.1-4, 2010
3. 八橋 弘：肝炎・肝硬変に対する抗ウイルス剤以外の治療法に関する研究，平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金（肝炎等克服緊急対策研究事業）分担研究報告書，2010
4. 八橋 弘：B 型肝炎の核酸アナログ薬治療における治療中止基準の作成と治療中止を目指したインターフェロン治療の有用性に関する研究，平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金（肝炎等克服緊急対策研究事業）分担研究報告書，2010
5. 八橋 弘：血小板低値例へのインターフェロン治療法の確立を目指した基礎および臨床的研究，平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金（肝炎等克服緊急対策研究事業）分担研究報告書，2010
6. 八橋 弘：B 型肝炎ジェノタイプ A 型感染の慢性化など本邦における実態とその予防に関する研究，平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金（肝炎等克服緊急対策研究事業）分担研究報告書，2010
7. 八橋 弘：肝炎に関する全国規模のデータベース構築に関する研究，厚生労働科学研究費補助金（肝炎等克服緊急対策研究事業）分担研究報告書，2010
8. 八橋 弘：血液製剤による HIV / HCV 重複感染患者に対する肝移植のための組織構築，平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）分担研究報告書，2010

9. 八橋 弘：ベトナムにおける長崎大学感染症研究プロジェクト，平成 21 年度地球規模課題対応国際科学技術協力事業（新興・再興感染症研究拠点形成事業）分担研究報告書，2010
10. 八橋 弘：本邦におけるウイルス性急性肝炎の発生状況と治療法に関する研究，平成 21 年度国立病院機構共同臨床研究，研究報告書，2010
11. 八橋 弘：B 型慢性間疾患に対するエンテカビル治療およびラミブジン・アデホビル併用療法の薬剤耐性変異に関する検討，平成 21 年度国立病院機構共同臨床研究，分担報告書，2010
12. 矢野公士：経口感染する肝炎ウイルス（A 型、E 型）の感染防止、遺伝的多様性、および治療に関する研究，平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金（肝炎等克服緊急対策研究事業）総括研究報告書，pp.1-5，分担研究報告書，pp.15-18，2010

学会発表数

A - a	A - b		B - a	B - b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	2	9	3	3	16

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
八橋 弘・教授	全国 C 型肝炎診療懇談会委員	厚生労働省 健康局
八橋 弘・教授	肝炎治療戦略会議委員	厚生労働省 健康局
八橋 弘・教授	評議員	財団法人 日本消化器病学会
八橋 弘・教授	九州支部評議員	財団法人 日本消化器病学会
八橋 弘・教授	評議員	社団法人 日本肝臓学会
八橋 弘・教授	西部会評議員	社団法人 日本肝臓学会
八橋 弘・教授	ながさき治験医療ネットワーク構築委員	長崎県
八橋 弘・教授	客員教授	中国吉林省北華大學
矢野公士・准教授	認定内科医・指導医	社団法人 日本内科学会
矢野公士・准教授	専門医・評議員	財団法人 日本消化器病学会
矢野公士・准教授	専門医・指導医・支部評議員	社団法人 日本肝臓学会
矢野公士・准教授	指導医・支部評議員	社団法人 日本消化器内視鏡学会
矢野公士・准教授	役員	日本急性肝不全研究会
矢野公士・准教授	認定医療職・評議員・編集委員	日本渡航医学会
矢野公士・准教授	認定医	国際旅行医学会
矢野公士・准教授	客員教授	中国吉林省北華大學

競争的資金獲得状況(共同研究を含む)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
八橋 弘・教授	厚生労働省	代表	肝炎等克服緊急対策研究事業 データマイニング手法を用いた効果的な治療方法に関する研究
八橋 弘・教授	厚生労働省	代表	医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業 抗 HBs 人免疫グロブリンの国内製造用原料血漿収集における B 型肝炎ワクチン接種の有効性に係わる基礎的検討（指定型研究

八橋 弘・教授	厚生労働省	分担	肝炎等克服緊急対策研究事業 肝炎・肝硬変に対する抗ウイルス剤以外の治療法に関する研究
八橋 弘・教授	厚生労働省	分担	肝炎等克服緊急対策研究事業 B型肝炎の核酸アナログ薬治療における治療中止基準の作成と治療中止を目指したインターフェロン治療の有用性に関する研究
八橋 弘・教授	厚生労働省	分担	肝炎等克服緊急対策研究事業 血小板低値例へのインターフェロン治療法の確立を目指した基礎および臨床的研究
八橋 弘・教授	厚生労働省	分担	肝炎等克服緊急対策研究事業 B型肝炎ジェノタイプA型感染の慢性化など本邦における実態とその予防に関する研究
八橋 弘・教授	厚生労働省	分担	肝炎等克服緊急対策研究事業 肝炎に関する全国規模のデータベース構築に関する研究
八橋 弘・教授	厚生労働省	分担	肝炎等克服緊急対策研究事業 経口感染する肝炎ウイルス（A型、E型）の感染防止、遺伝的多様性、および治療に関する研究
八橋 弘・教授	厚生労働省	分担	エイズ対策研究事業 血液製剤によるHIV / HCV重複感染患者に対する肝移植のための組織構築
八橋 弘・教授	厚生労働省	分担	肝炎等克服緊急対策研究事業 ウイルス性肝炎に対する応答性を規定する宿主因子も含めた情報のデータベース構築・治療応用に関する研究
八橋 弘・教授	厚生労働省	分担	肝炎等克服緊急対策研究事業 B型肝炎における新規逆転写酵素阻害剤による治療に関する研究
八橋 弘・教授	厚生労働省	分担	エイズ対策研究事業 HIV・HCV重複感染血友病患者の長期療養に関する患者参加型研究
八橋 弘・教授	国立病院機構	代表	共同臨床研究 本邦におけるウイルス性急性肝炎の発生状況と治療法に関する研究
八橋 弘・教授	国立病院機構	分担	共同臨床研究 B型慢性間疾患に対するエンテカビル治療およびラミブジン・阿德ホビル併用療法の薬剤耐性変異に関する検討
矢野公士・准教授	厚生労働省	代表	肝炎等克服緊急対策研究事業 経口感染する肝炎ウイルス(A型、E型)の感染防止、遺伝的多様性、および治療に関する研究

その他

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
八橋 弘・教授	座談会記録 (共同演者：山田剛太郎，八橋 弘，平松直樹，田中靖人)	肝胆膵 61(Suppl): pp.225-38	2010年	座談会 / 抗ウイルス療法を進めるにあたっての忍(こつ)
八橋 弘・教授	座談会記録 (共同演者：四柳 宏，鈴木義之，黒崎雅之，八橋 弘)	medicina 47(3): 498-511	2010年 3月10日	座談会 / 臨床医が知っておきたいウイルス肝炎のポイント
八橋 弘・教授	Web サイト	Web サイト 「m3.com」 (エムスリー株式会社)	ビデオ収録日 2010年 3月19日	医療情報コンテンツ「C型肝炎の最新トピック」

八橋 弘・教授	冊子	医学情報誌シ ュネラー 75: pp.18-24	2010年 7月20日	肝炎対策基本法に基づく 拠点 病院からの視点及び長崎県の現 状
八橋 弘・教授	座談会記録（共同演者：八橋 弘，田守昭博，上野義之，坂 本直哉）	日 経 CME pp.2-6	2010年 8月10日	座談会 / PEG-IFN + RBV 非著効 例に対する PEG-IFN + RBV の再 治療戦略
八橋 弘・教授	冊子	Expert Opinion on Hepatitis B. Vol.10: pp.6-9	2010年 12月	特集/わが国における HBV キャ リア-自然経過、治療の有無を含 めて-
矢野公士・准教授	記事	日経新聞	2010年 6月17日	慢性化しやすい「欧米型」B型 肝炎の4割超に